

## 九州支社・センターの紹介 方言編 part-1

九州支社・センターの紹介も2回目ですが、今回と次回は方言について紹介します。普段、支社・センター員は電話での会話中には標準語（と思われる？）で会話するように努めておりますが、無意識のうちに語尾が変わっていたりする事に気付かれる方もいるかもしれませんね。関東地方の方には、「普通に話していても喧嘩腰に聞こえる」と言われる方もいるようです。

福岡弁と言っても博多弁（博多華丸・大吉でお馴染み）、久留米弁（フェッカーズや松田聖子）、筑後弁、筑豊弁、田川弁、そして支社・センターのある小倉は北九州弁と、特に福岡県は多種多様な方言が存在します。今回は支社・センター員に聞いた、生の北九州弁について紹介しますので、諸説ある中で多少の違いはご勘弁願います。

まずは、代表的な語尾ですが、

北九州「～っち」、「～っちゃ」となります。ちなみに80km離れた博多では、「～と」、「～たい」となります。

その他、支社・センター員に聞いた生の北九州弁は下記の通り

北九州弁	意味	使用例
～やけ、～け	～だから、～なので	「明日は休みやけ ゆっくり飲めるっちゃ」
おらぶ	叫ぶ	「世界の中心で 愛をおらぶ」
かしわ	鶏肉	「かしわうどん」 甘めの味付けです
からう	背負う	「ランドセルをからって・・・」
きない	黄色い	「そのトマト まだきないね」
くらす	殴る	「一発くらすと 気がすまんちゃ」
さんのーがーはい	いっせーのーせ	「机の角持って！ 持上げるけ さんのーがーはい！」
しゃーしい、しゃあしい	うるさい	「もう！ その人 しゃーしい」
たう	届く	「棚の一番上たう？」
たわん	届かない	「たわんね～」
つむ	切る	「爪伸びたけ、つんどき」
なおす	片付けて、物を元の場所にしまう	「その掃除機なおすとして」

まだまだありますが・・・ 次回 方言編 part-2 をお楽しみに

文/写真)九州支社・センター T.K